

大正5年5月5日木藤精一郎創立

やまゆき会会報



令和元年 8 月号

例 会 報 告

野坂山地：箱館山・平池 上級C

6月2日(日) 曇 担当:山田昭則 参加者 11 名

JR 湖西線近江今津駅でバスに乗換え箱館山バス停で下車したが、箱館山スキー場に上るゴンドラは動いておらず登山者は我々だけである。天気は曇りがちで暑くもなく快適な山登りが出来そうである。メンバーの確認とコース説明の上、身体をほぐして駐車場の奥にある登山口に向かうが、登山道は枝が生い茂り、登山者が歩いた踏み跡はなかった。ゴンドラの右側のジグザグの登山道を確認しながら登り、1 時間ほどで合流点に登りつめた。ゴンドラの下をくぐって行くと小高い尾根が一等三角点のある箱館山(点名・羽子立山 標高 546.8m)である。更に 20 分ほど登るとゴンドラ山頂駅でスキー場のゲレンデが広がっている。夏季は平坦なところがゆり園となっており、フェンスの南側を巻くように登ると C コースへの分岐であるが、スキー場の端にある登山道を見つけたが何の表示もなかった。ここから処女湖の南側の芝生の堰堤まで 1 時間ほど緩やかに下っているが、枝が生い茂っているし倒木もあって歩きづらく、ところどころ古いテープがあったので注意しながら下っていった。堰堤工事等のため、水のない処女湖が見えてきた。堰堤に下りるあたりは急な斜面であった。

淡海湖(別名:処女湖)は、大正時代後期から約 10 年かけて完成し、浮島には弁財天が祭られ、ため池百選に選ばれている。水がないため新緑が映える湖面が見られないのが残念である。湖西側の小川の側で昼食を取る。舗装道を 20 分ほどで1万本のカキツバタが群生する平池(ダイライケ)である。水面に映える淡紫色の花



が見ごたえがあります。少し引き返して処女湖北側の流入口の地点から湖の東側のルートを進み、浮島が近くに見えるあたりから B コースを登っていくのであるが、地図を確認すると谷筋を登っているようなので登っていくと登山道が見当たらなくなった。上の傾斜が緩い所に上れば登山道に出られそうなので、枝につかまりながら急な斜面を詰めていくと登山道に出ることができた。登っていくと尾根に上がり、琵琶湖側の斜面はスキー場で、箱館山の最高地点(690m)には何の表示もなかった。草地のゲレンデを下って、ゆり園のフェンスの北側を巻いてゴンドラ山頂駅に下っていった。後は登ってきた道を合流点まで下り、北方向へ緩やかな道を歩くと伊井城跡への表示があったので往復 20 分ほどで行ってこられるので行ってみたが、説

明の表示板があるだけで石垣跡もなかった。眼下に琵琶湖が見渡せたが曇り空のため霞んでいた。でこぼこの急な下り道をおりて小谷登山口に下山し、バス停が見えているので、全員無事に下山したことを確認して解散とした。

コースタイム

近江今津駅＝箱館山バス停(8:45)～小谷登山口(8:53)～合流点(9:38-9:44)～箱館山一等三角点(9:50-9:58)～ゴンドラ山頂駅(10:15)～処女湖の堰堤(11:18-11:28)～小川の河原(11:32-11:57)～平池(12:18-12:37)～処女湖の中央付近(13:10)～箱館山最高峰(14:17-14:22)～ゴンドラ山頂駅(14:46)～下山道分岐(15:15)～伊井城跡(15:23-15:28)～下山道分岐(15:35)～登山口・解散(15:57)

京都西山： 天王山 初級 B

6月2日(日) 曇 担当者:諸橋勝彦 参加者 23 名

今回は、昨年9月に台風の影響で中止となった例会の再チャレンジということで実施しました。

曇り空の中、ミーティング、準備体操を行い JR 東海道本線島本駅を出発。ふれあいセンター、消防署前を通り若山神社に到着。手洗い休憩と衣服調整後、チョットした山道と尺代の集落を抜け自動車道へ、しばらくここを進むとテニスコートに出る。当初はこのまま直進し、乗願寺の裏から山道を登り柳谷観音に出る予定だったが、去年の台風で通行禁止になっていてコース変更を余儀なくされる。テニスコート前を左折、再び自動車道のガラガラした上り道を四十



分歩き、ようやく柳谷観音に到着する。昼食タイムを取り、アジサイ見物と思っていたが残念ながら咲き始めたばかり。

諦めて緩い坂道を下り天王山登山口へ向かう。登り口からはしばらくの間、V字形にえぐられた急登の道になっている。足元に注意しながら登りきると整備された道になり、この先山頂までは緩い登りが続いている。昨年の台風で通行禁止になったこの道

も今は良くなっているが、周囲には沢山の風倒木が見られ、特に山頂付近の様相の凄さはあの時の恐ろしさを十分に思い出させる。途中の小倉神社分岐で小休止。再び歩き出すとほどなく山頂に到着する。集合写真を撮り下山の準備をしていると、小雨が降り出し急いで下山開始。小石や木の根のある急降下の道を足元に注意して下ること一時間。雨もやみ予定通り無事に JR 山崎駅に到着。JR 利用者も多数いるのでここで解散する。

このコースは昨年九月の台風の影響で長期間通行禁止となっていたが、今でも一部分が工事中で通行できず予定を少し変更、参加者に迷惑をかけ申し訳ないと思っております。

コースタイム

JR 島本駅(9:40)～若山神社(10:10-10:15)～テニスコート(11:00-11:10)～柳谷観音(11:50-12:30)～天王山登山口(12:45)～小倉神社分岐(13:20-13:30)～天王山山頂(14:00-14:10)～宝積寺(14:40-14:45)～JR 山崎駅(15:00)

明石城とゆかりの寺社巡り 入門 B

6月9日(日) 晴 担当:浜崎邦男 参加者 27 名

JR 山陽本線朝霧駅前の大蔵海岸(一)の入り口で集合して今日の資料を配布。行程を説明し、体験参加者1名を紹介して、ストレッチ後、今日のグレードは入門なのでゆっくり歩く事、歩行マナーを心掛けることをモットーにして、左に明石海峡大橋、対岸の淡路島を見て、松林の浜辺の遊歩道を散策。大蔵海岸(二)の休憩所で一回目の休息をとる。

これより街中の歩行になるので車に注意をして、稲爪神社(古くは稲妻大明神と呼ばれていたが、稲妻が転訛して稲爪となったと伝えられる)に参拝。次は長寿院(歴代明石城主と家族の菩提寺)、入口での参拝。すぐ上の柿本神社(明石城主であった小笠原忠政公が、飛鳥時代宮廷に仕えた歌人、柿本人麿公を御祭神として祀った)に参拝。隣の月照寺(弘仁 2 年・811 年に空海が現在の明石城本丸付近に当たる場所に楊柳寺として建てた事に始まる。楊柳寺は後に月照寺となる)に参拝。すぐ下の亀の水(人丸山から湧き出る霊水。播磨三名水の一つで、かつて長寿の水とも言われていた)でのどを潤した後、本松寺(宮本武蔵が作庭したとされる枯山水庭園が有名な、開山 400 年を誇る日蓮宗の寺)へ参拝。



築城 400 年の明石城(別名:喜春城、鶴城)で昼食休憩とした。明石城は江戸時代に譜代大名である小笠原忠政が 2 代将軍・徳川秀忠に命じられて築いた城です。

休憩後、一般公開をしている巽櫓(日本に 12 基しか現存していない貴重な三重櫓)を見学してから記念写真を撮った。巽櫓・坤櫓は 1957 年に国の重要文化財に指定され、また 2004 年には城跡(明石公園の一部)が国の史跡に指定され、2006 年には、日本城郭協会による「日本 100 名城」に選定された。

その後、城壁を下り、剛ノ池を一周して明石城公園を散策して正門(太鼓門)入口で解散。

コースタイム

JR 朝霧駅(9:30-9:40)～大蔵海岸(二)(10:15～10:35)～稲爪神社(10:43-10:48)～長寿院(10:55)～柿本神社(11:05-11:15)～月照院(11:17)～亀の水(11:20-11:23)～本松寺(11:25-11:35)～明石城(11:50-12:30)～明石城櫓(12:30-12:40)～明石城正門(太鼓門)(13:50)

六甲山系： 東おたふく山 中級 C

6月16日(日) 曇り 担当:渡辺正美 参加者14名

前日の雨で空気がさわやかな中、集合駅近くの公園で念入りの準備体操をし、コース説明をして出発。閑静な住宅地の坂を進み白鶴美術館、車道沿いから横断歩道を渡り、住吉川沿いに進む。野生のビワが色づく中進み、山入り前に一休み。階段道等経て上部林道。多くの地元の方が散策。四差路分岐を確認し、石段登ると五助堰堤。さわやかな水の流れる平地木道を進み一休み、川は澄み癒される。植林地の中、石畳等の道進む。キイチゴ等楽しみ尾根



に取りつき、六甲最高峰分岐を右へ。こあじさいのかれんな花畑を経て雨ヶ峠で昼食休み。昼食後、草原地帯に姫百合を期待したが跡形もなく残念。

本日目的の東おたふく山山頂に到着。記念撮影し、街・海の眺めを楽しむ。バス停への下りは滑りやすく、ロープ等倒木迂回ルートもあり慎重に下り、渡渉し林道ゲート出会い。舗道を下りバス停に着き、あとは長い下りのため一次解散。バスに乗った3名を見送る。

横断歩道を渡り、案内どおりに芦有有料道路(歩行禁止)沿いの道を下り、有料道ゲート。ここから先は私が下見したのは車道のため、北川隆史さんに案内を依頼しリーダー交代。車道沿いの山道をアップダウンし進み、平坦道。赤テープより沢へ下り、慎重に渡渉。車道渡り、笹道を分け進み、大きな弁天岩。一休みしナマズ石経てトラバース道をアップダウンしながら湧き水2ヶ所、分岐2ヶ所経て街中の車道に出る。少し下り、公園で念入りの整理体操をして長丁場の体をほぐして、阪急神戸線芦屋川駅で解散。

コースタイム

阪急神戸線御影駅(9:15)～五助堰堤(10:35-10:40)～雨ヶ峠(11:50-12:20)～東おたふく山(12:40-12:50)～東おたふく山登山口バス停(13:30-13:40)～芦有ゲート(14:50-14:55)～弁天岩(14:50-14:55)～街中出会い(15:40)～阪急神戸線芦屋川駅(16:10)

丹波高原南部(北摂)：鉢伏山(604m) やまゆき会・(一社)大阪府山岳連盟共催 事業クリーンハイキング 中級 C

6月23日(日) 曇り 担当:北川隆史 参加者 23名

一般社団法人大阪府山岳連盟との共同企画として実施するクリーンハイキングは、山の日のイベントとして2回実施した後、昨年は酷暑の8月を避けて6月に生駒山のアじさい園付近で実施、4年目となる今年も6月下旬を選んで実施した。府岳連関係者5名、府岳連傘下の「いこいの山岳会」4名を加えて、参加者合計32名という盛会となった。参加者には府岳連から記念品が贈られた。

瀧安寺前の広場でミーティング、府岳連の佐伯典昭広報マネージャーから挨拶をいただいた後、準備体操、班分けをして出発する。滝道を進んで箕面大滝前で休憩し、集合写真を撮影した。府道まで登ってトンネルを抜け、杉の茶屋前から雲隣展望台への山道に入る。このあたりから、ゴミ収集の機会が増える。

雲隣展望台で休憩の後、こもれび展望台を経由してビジターセンターに向けて谷道を下る。ビジターセンターの駐車場でトイレ休憩後、箕面川ダムに出て市道箕面五月山線を登る。歩道がないので、坂を下ってくる車と対向して歩けるように車道の右端を進む。自然研究路7号線が8月末まで通行禁止となっているので、



やむを得ず市道をそのまま進み、エキスポ'90 みのお記念の森で昼食とした。この公園の北端が鉢伏山・明ヶ田尾山への登山口となっていて、20分ほどで鉢伏山の送電鉄塔に到着する。北西の小高くなった所に手製の登頂標があった。裸状地が広がる広場で収集したゴミの袋を積み上げて集合写真を撮影する。

下山は自然研究路6号線を下る。府道茨木能勢線に出てしばらく側道を歩くと、トンネルの手前で山道となり、ダム湖沿いに道を辿って箕面川ダムへと下る。ビジターセンターで休憩後、オヶ原林道を15分ほど登って、午前中に通過した雲隣展望台への山道に入り、風呂谷道を下って滝道の左岸道に出た。瀧安寺で整理体操の後、ミーティングを実施し参加各団体の代表が総括の言葉を述べ、解散した。

コースタイム

阪急箕面線箕面駅(9:05)～瀧安寺(9:25-9:40)～箕面大滝(10:00-10:15)～雲隣展望台(10:40-10:50)～ビジターセンター駐車場(11:40-11:50)～エキスポ'90 みのお記念の森(12:35-13:15)～鉢伏山(13:40-13:45)～自然研究路6号線分岐(14:00)～ビジターセンター駐車場(14:55-15:05)～雲隣展望台(15:25-15:30)～瀧安寺(16:12-16:20)